

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像

「考え、行動し、夢をもって成長する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

校訓 自分らしさを光らせて

めざす学校像

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 地域とともに歩み、信頼される学校



ディズニーランドではお客様を「ゲスト」、従業員を「キャスト」と呼びます。ディズニーランドにまつわる話を紹介します。

ディズニーランドに学ぶ

ある日、ディズニーランドのインフォメーションに、一人のお母さんが元気なさそうにやって来てこう言いました。

「今日、子どもと一緒に来たんです。子どもがミッキーとかミニーとかのキャラクターにサインしてほしいと言っていたので、サイン帳を持ってきたんです。子どもはキャラクターを見つけては、一人一人にサインを書いてもらっていました。そして、あと少しでサイン帳が全部埋まるというところで、そのサイン帳をなくしてしまいました。落とし物で届けられていないかと思って来てみたんですが、ありませんか？」

そのインフォメーションには、サイン帳は届けられていませんでした。そこで、そのキャストは、考えられるいろんなところに電話をしてみました。どこにも届けられていませんでした。

そのキャストは、サイン帳の特徴を詳しく聞いた後、「いつまで御滞在されますか？」と尋ねました。その家族は、2日後のお昼には帰らなければならなかったそうです。キャストは「それでは、この後ももう少し探してみますので、2日後、お帰りになる前にもう一度こちらにお寄りいただけますか」と言ったそうです。

そして、お母さんが帰られた後、そのキャストは、更に細かな部署に電話をかけて聞いてみたり、自分の足で駐車場や心当たりのある場所を探し回ったりしたそうです。でも、どうしても見つかりませんでした。

そこで、そのキャストは、そのサイン帳と同じサイン帳を自分で買って、自分の足でいろんな部署を回って、キャラクターのサインを全部書いてもらって当日を迎えたそうです。

当日は、お父さんがやってきました。お父さんは、おそらくあきらめていたと思います。キャストはお父さんに言いました。

「申し訳ございませんでした。サイン帳は見つけることができませんでした。でも、お客様、こちらのサイン帳をお持ち帰りください。」

お父さんがびっくりして中を見ると、サイン帳にはキャラクターのサインが全部書いてありました。お父さんは大喜びして「ありがとうございます！」とお礼を言うと、そのサイン帳を子どものところに持って帰ったそうです。

後日、ディズニーランドにそのお父さんから1通の手紙が届きました。

先日は、サイン帳の件、ありがとうございました。実は、あの日連れてきていた私の息子は脳腫瘍で、いつ亡くなってしまうかわからない状態でした。息子は物心ついた時から、テレビを見てはパパ、ディズニーランドに連れて行ってね」「ディズニーランドに行こうね」と毎日のように言っていました。

「もしかしたら、約束を果たせないかもしれない」と考えて、命があと数日で終わってしまうかもしれないという時に、どうしても息子をディズニーランドに連れて行きたいと思い、無理を承知で連れて行っただけです。

しかし、その息子が夢にまで見ていた大切なサイン帳を、あの日落としてしまったのです。息子は、本当に落胆していました。しかし、あの、御用意いただいたサイン帳を息子に渡すと、「パパ、あったんだね。パパ、ありがとう！」と言って、大喜びしていました。

その息子は、数日前に息を引きとしました。死の直前まで、息子はそのサイン帳を眺めては、「パパ、ディズニーランド楽しかったね！ありがとう！また行こうね。」と言って、サイン帳を胸に抱えたまま、永遠の眠りにつきました。

もし、あなたがあの時、あのサイン帳を用意してくださなかったら、息子はこんなにも安らかな眠りにはつかなかったと思っています。私は、息子は「ディズニーランドの星」になったと思っています。

あなたのおかげです本当にありがとうございました。

手紙を読んだキャストは、その場に泣き崩れました。もちろん、その男の子が死んでしまったという悲しみもありましたが「あの時精一杯のことをしておいて本当に良かった。」という、安堵の涙でもありました。



生徒の皆さん、このキャストが行った行動(仕事)について、どんな感想(考え)が浮かびますか？